

「情報公開文書」

複数施設研究用

研究課題名：周術期口腔機能管理が入院患者の誤嚥性肺炎の発症、および予後に与える効果についての多施設共同研究**1. 研究の対象**

平成 22(2010)年 4 月 1 日～平成 26(2014)年 3 月 31 日までの間に当院に入院し、入院後に肺炎にかかった方。

2. 研究目的・方法

周術期口腔機能管理（周術期口腔ケア）は手術や放射線療法、化学療法などを受ける患者さんに対して行うと、誤嚥性肺炎は口内炎などの症状にかかりにくくなります。周術期口腔機能管理の効果を明らかにしておくことは患者さんの利益のみならず、医療費の抑制など将来の医療の発展にもつながります。

具体的には平成 22(2010)年 4 月 1 日以降に当院に入院し、入院後に肺炎にかかってしまった患者さんに対しての調査を行います。入院の理由になった病気とその治療内容、入院した後にかかってしまった別の病気や肺炎の原因等を調査し、また入院期間やかかった医療費、さらに転院や退院の後の経過などの項目も調べます。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報： 年齢、性別、病歴、抗がん剤治療の治療歴、副作用等の発生状況、血液データ、診療録 等

4. 外部への試料・情報の提供

データセンターへのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、当センターの研究責任者が保管・管理します。

5. 研究組織

武蔵野赤十字病院 特殊歯科・口腔外科 道脇 幸博
横浜市立みなと赤十字病院歯科口腔外科 向山 仁
東邦大学医療センター大森病院 口腔外科 関谷 秀樹
都立駒込病院歯科・口腔外科 茂木 伸夫
東京都立広尾病院 歯科・口腔外科 小林 裕
国立国際医療研究センター病院 歯科・口腔外科 丸岡 豊
東京都多摩総合医療センター 歯科口腔外科 重松 司朗

公立昭和病院 歯科・歯科口腔外科 陸川 良智
公益財団法人東京都保健医療公社 荏原病院 長谷川 士朗
東海大学八王子病院 歯科・口腔外科 唐木田 一成
国立病院機構横浜医療センター 歯科口腔外科 根岸 明秀
海老名総合病院 歯科口腔外科 根岸 明秀
海老名総合病院 歯科口腔外科 石井 良昌
東京高輪病院歯科口腔外科 大橋 勝
埼玉医科大学国際医療センター歯科口腔外科 坂田 康彰
宮城県立がんセンター 歯科 臼淵 公敏
東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 健康推進歯学分野 植野 正之

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、
研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

宮城県立がんセンター治験・臨床研究管理室 倫理審査委員会担当 村尾知彦
〒981 - 1101 宮城県名取市愛島塩手字野田山 47 の 1
TEL 022-384-3151 (代表) (内線 973)

研究責任者：

宮城県立がんセンター 歯科 臼淵 公敏

研究代表者：

国立国際医療研究センター病院 歯科・口腔外科 診療科長 丸岡 豊